Tablet 利用ガイド

学籍番号		
名前		
端末番号	No.	
タイプカバー	No.	

上記の貸与品リストに管理番号を正しく記入しておいてください
返却の際は管理番号が正しいことを確認のうえ、すべての貸与品を揃えて情報社会基盤研究センターまでお持ちください

情報社会基盤研究センター/
Research Center for Advanced Computing Infrastructure
Japan Advanced Institute of Science and Technology

Welcome to JAIST

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。JAIST では教育研究用のコンピュータ環境として、各学生に端末を貸与しています。論文やレポートの作成、インターネットを利用した情報収集といった電子文房具としての用途から、各種学内サービスの利用や、大型計算機への接続端末としての利用まで幅広くご利用頂けます。居室の机にあるタブレット接続ドックまたはディスプレイに接続すれば、在席時の長時間利用にも耐える据え置き型端末として、また、取り外せば持ち運んでの利用もできる端末となっています。ドックやディスプレイが配置されていない場合も座席に場所があれば設置可能ですので、教員の方に相談してみてください.

さらに、JAIST では『JAIST クラウドデスクトップサービス』として、Windows デスクトップ環境の提供も行っており、この端末からも利用することが可能です。JAIST クラウドデスクトップ環境に置かれたデータは基本的に自動バックアップが取られ安心して利用できるほか、端末にインストールされていない各種の商用アプリケーションもご利用頂くことが可能です。また、学内の各種大型計算機等についても在学中は自由に利用することができます。ぜひご活用ください。

JAIST のコンピュータ環境は、情報社会基盤研究センターで集中管理運用しています。利用可能なさまざまなサービスについての情報などは、当センターの Web ページから入手ください。これらのサービス・設備・制度などを有効活用され、有意義な学生生活を送られることを切に希望します。

情報社会基盤研究センター

Research Center for Advanced Computing Infrastructure

目次

1　注意事項 3
2　機器構成 4
3　セットアップ 5
4　学内無線 LAN への接続 9
5　Windows11 について 17
6　データバックアップ 20
7　利用できるサービス 21
8　困った時には 21

As of Apr.1, 2025

1　注意事項

1.1 破損

- お渡しの際の袋は機器をまとめて扱うために利用しているもので、普段の運搬に利用するのは推奨いたしません。端末を保護する機能は無く、落下や衝突による端末破損の事例が報告されています。
- タイプカバーキーボードのキーボード面を表にした状態で鞄などに入れると、キーの脱落や破損を起こすという事例が報告されています。
  保護カバーとして利用する場合は、必ずキーボード面が内側になる状態にしてください。
- タイプカバーキーボードと本体は磁力のみで接続されています。持ち運ぶ際は必ず端末本体を持ってください。
  キーボード部分を持って、端末本体を落下破損させるという事例が報告されています。
- 破損などが起きた場合は、早急に情報社会基盤研究センターまでご連絡ください。機器の保証期間などの関係上、遅くなるほど対応が難しくなります。
- 端末の変形/膨張がみられる場合は危険ですので使用を継続せず、速やかに情報社会基盤研究センターにご連絡ください。

1.2 データのバックアップ

- 端末にトラブルが起きた際、構造上**データのサルベージは非常に困難です**。
  万が一にそなえ**重要なデータのバックアップを行ってください**。
  OneDrive 等のクラウドストレージへ自動的に同期するフォルダを用意し、重要なデータの保存先としてそのフォルダを設定しておくことを推奨します。

1.3 Windows Update

- JAIST の端末設定では、Windows Update について最低限の更新は行われるように設定されていますが、Surface 特有のアップデートなどが含まれていない場合がありますので、定期的に手動でもアップデートを行うことを推奨します。

1.4 操作不能になった場合

- 電源ボタンを 30 秒間押し続けることで、強制的にシャットダウンできます。

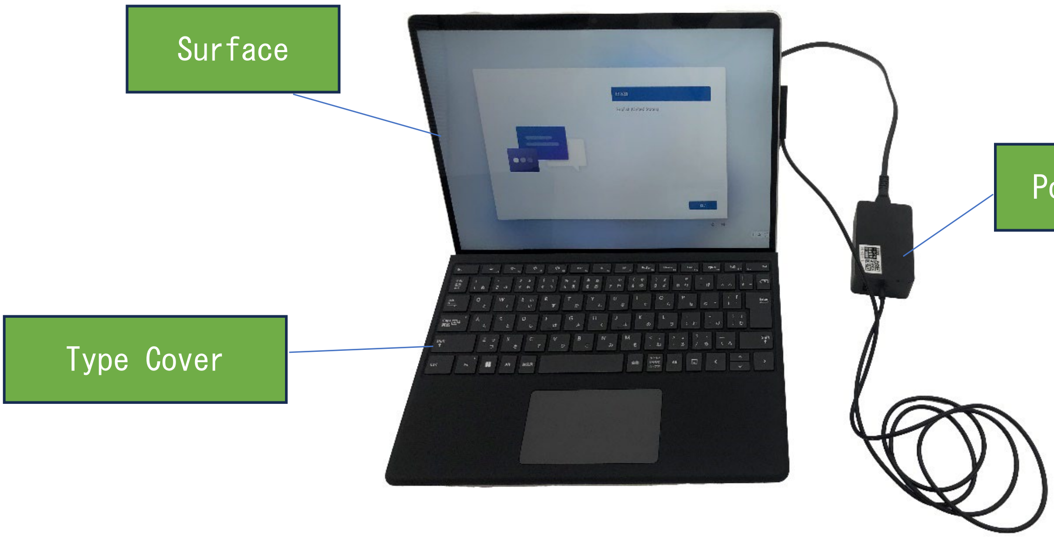
1.5 端末の取り扱い

- 長期間端末を利用しない場合や端末が不要な場合、端末を情報社会基盤研究センターに返却してください。長期間の放置により、付属品を紛失してしまう事例が報告されています。
  必要になった場合、申請していただければ再貸与いたします。
- 座席移動を行う場合、ユーザに貸与している以下の物品を持って、移動してください。

> *Surface 端末本体*
> *タイプカバーキーボード*
> *Surface 端末本体の電源アダプタ*

2 機器構成

2.1 貸与品



上記三点が貸与されます。紛失しないよう保管してください。
座席移動の際には、これらの貸与品を各自で移動してください。

2.2 机上設置物(Type: Surface ドック)

机上に SurfaceDock が設置されている場合，同時設置機器は上記の六点になります。
Surface に Dock を接続して使用してください.

機器の詳細，設置依頼については以下の Web サイトをお読みください.

https://www.jaist.ac.jp/iscenter/pc/equipments/

2.3 机上設置物(Type: USB-C Monitor)

机上に SurfaceDock が設置されていない場合，同時設置機器は上記の 4 点になります。
写真のように，USB-C ケーブルで Surface 本体とモニタを接続します．
モニタに USB-A ポートがついており，USB ハブとして使用できます．

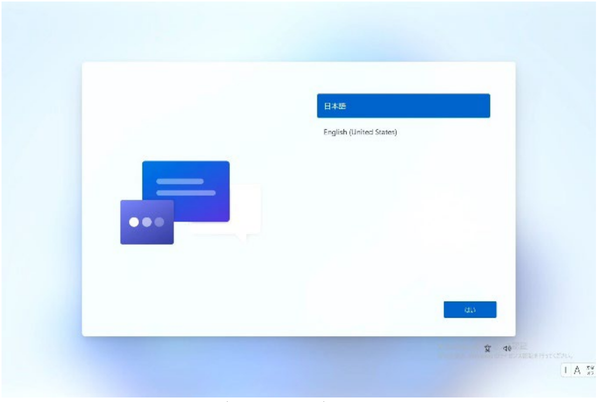
機器の詳細，設置依頼については以下の Web サイトをお読みください．

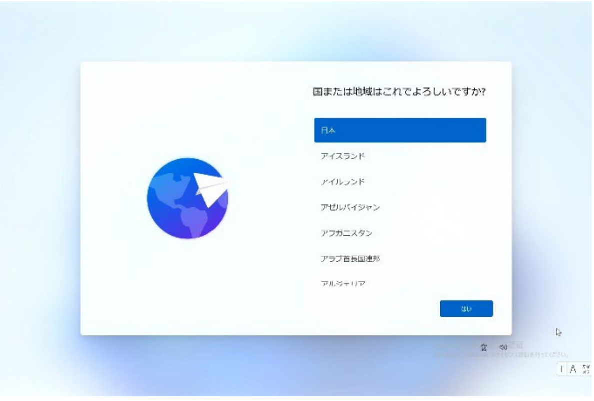
https://www.jaist.ac.jp/iscenter/pc/equipments/

3 セットアップ

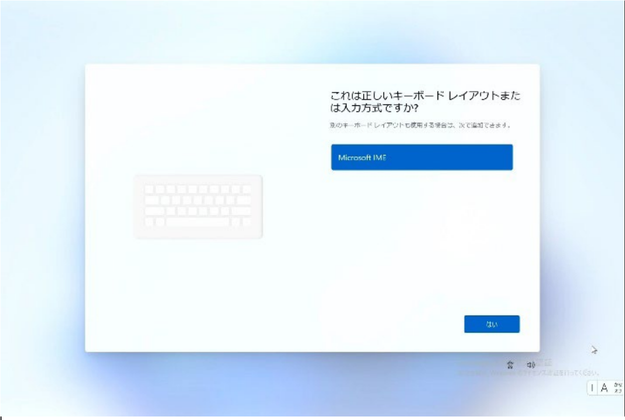
初期セットアップの際には、バッテリーがある程度充電されている必要があります。
セットアップ前に 30 分以上充電を行った上、電源に接続した状態でセットアップを開始してください。
セットアップの手順は以下のようになりますが、セットアップ環境によって不要なステップは省略されることがあります。

3.1 言語の選択





利用する言語を英語(English)と日本語から選択してください。
その他の言語を利用したい場合は、セットアップ後に追加することが可能です。
地域の設定は、現在地である「日本」を選択してください。



キーボードレイアウトは「Microsoft IME」を選択してください。
二つ目のキーボードレイアウトの追加は、必要に応じて行ってください。

3.2 ネットワーク接続

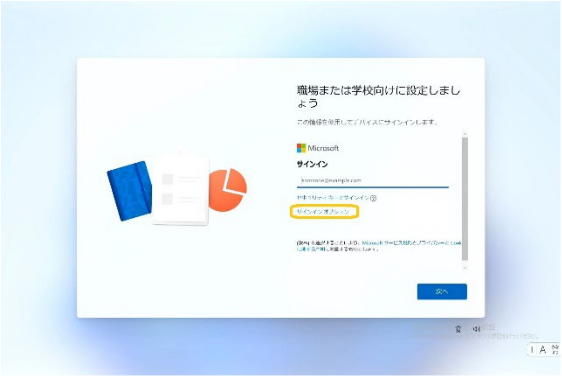
端末がオンラインになっていない場合、無線 LAN の設定画面になります。
利用出来るネットワーク接続がある場合は設定してください。
無い場合は「インターネットに接続していません」→「制限された設定で続行」を選択してください。

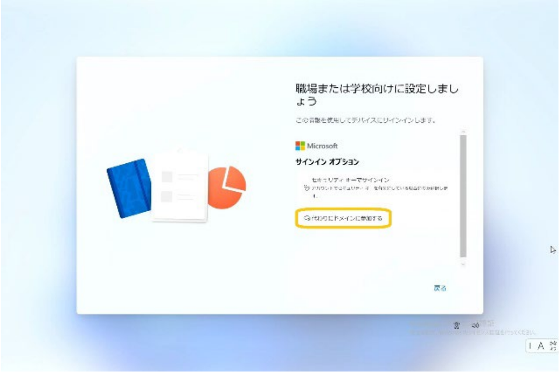
4月および10月の入学時は一時的に、電子証明書の提示が不要な無線 LAN を利用できます．その他の期間には，学内無線 LAN への接続には電子証明書の提示が必要なため、この時点ではネットワーク接続を利用できません。端末のセットアップが完了した後で、改めて設定してください．

3.3 ライセンス承諾

本学のボリュームライセンス契約に基づいて利用することを確認し、「同意」をクリックしてください。

3.4 Microsoft アカウントでサインイン

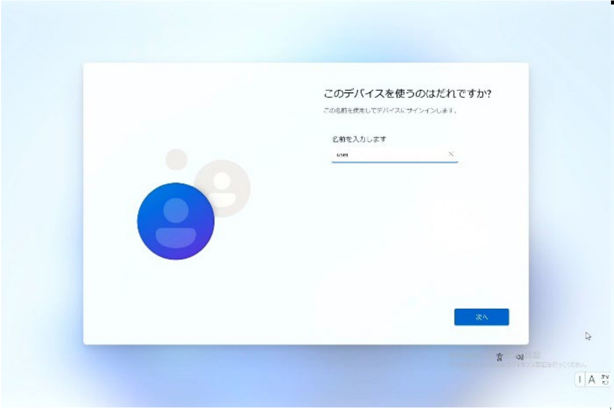


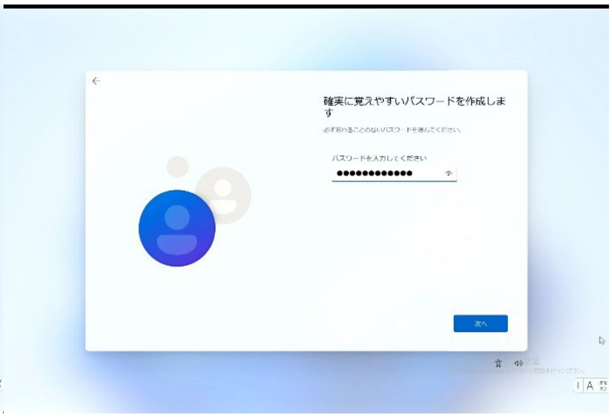


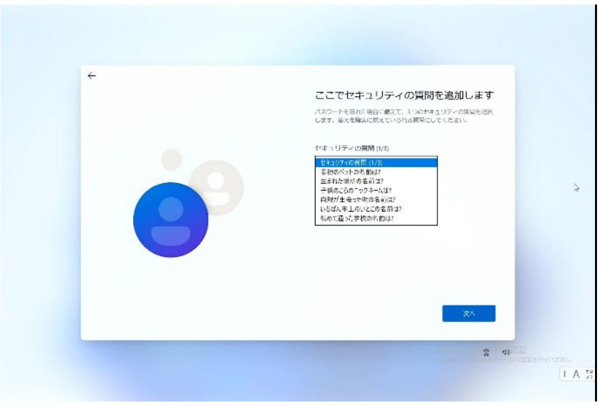
ネットワークに接続されていれば、Microsoft アカウントでのサインイン画面が表示されます。

最初に管理者用のローカルアカウントを作成し，必要に応じて後から Microsoft アカウントにリンクする方法を推奨しています.
画面上の「サインインオプション」→「代わりにドメインに参加する」を選択してください。

3.5 アカウントの作成

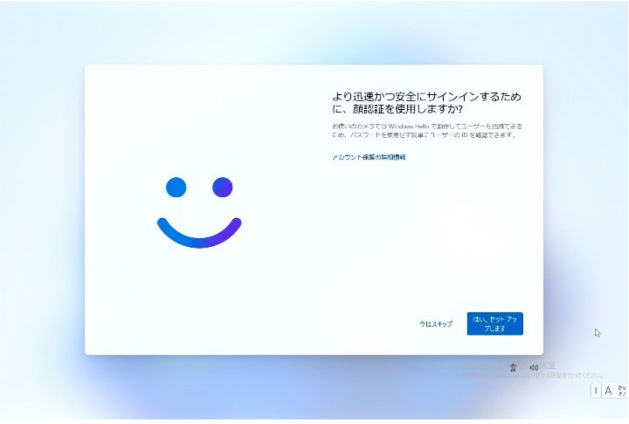






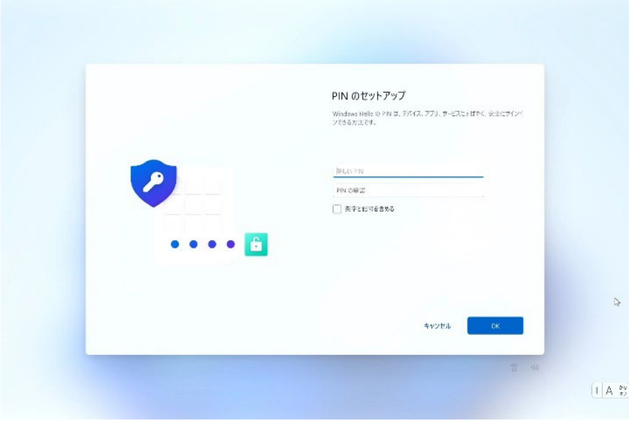
ローカルアカウント用のユーザ名とパスワード、ならびにセキュリティ質問を設定してください。
端末でのみ使用するユーザ名とパスワードですので、ご自由なユーザ名を設定いただけますが、インストールするソフトウェアによっては不具合が生じる場合があるため全角文字は避けることをお勧めします.
また、パスワードは他で利用しているものと同じものは避けてください。
合計 3 つのセキュリティ質問は、もしパスワードを忘れてしまった際、パスワードの再設定を行うために必要となります。各質問に対する回答を忘れないようにしてください。

3.6 Windows Hello の設定



必要に応じて Windows Hello の設定が行えます。
不要、もしくはセットアップ完了後に設定を行いたい場合はスキップを選択してください。

3.7 PIN の設定



PIN の設定が行えます。
不要、もしくはセットアップ完了後に設定を行いたい場合はスキップを選択してください。

3.8 デバイスプライバシーの設定

プライバシー設定の変更を必要に応じて行ってください。

3.9 サインイン

セットアップが完了すると、しばらくしてデスクトップが表示されます。初回サインイン時には、初期設定作業が行われますので、利用可能になるまでに少々の時間がかかる場合があります。

4　学内無線 LAN への接続　　* JAIST アカウントが必要です(ゲスト Wi-fi 除く) *

JAIST では、各研究科棟、講義棟、図書館、大学会館、東京キャンパスを含め、屋外を除く学内のほぼ全域で無線 LAN によるインターネット接続が可能です。また、Eduroam を利用することで、国内外の大学等教育研究機関においても無線 LAN 接続が可能になります

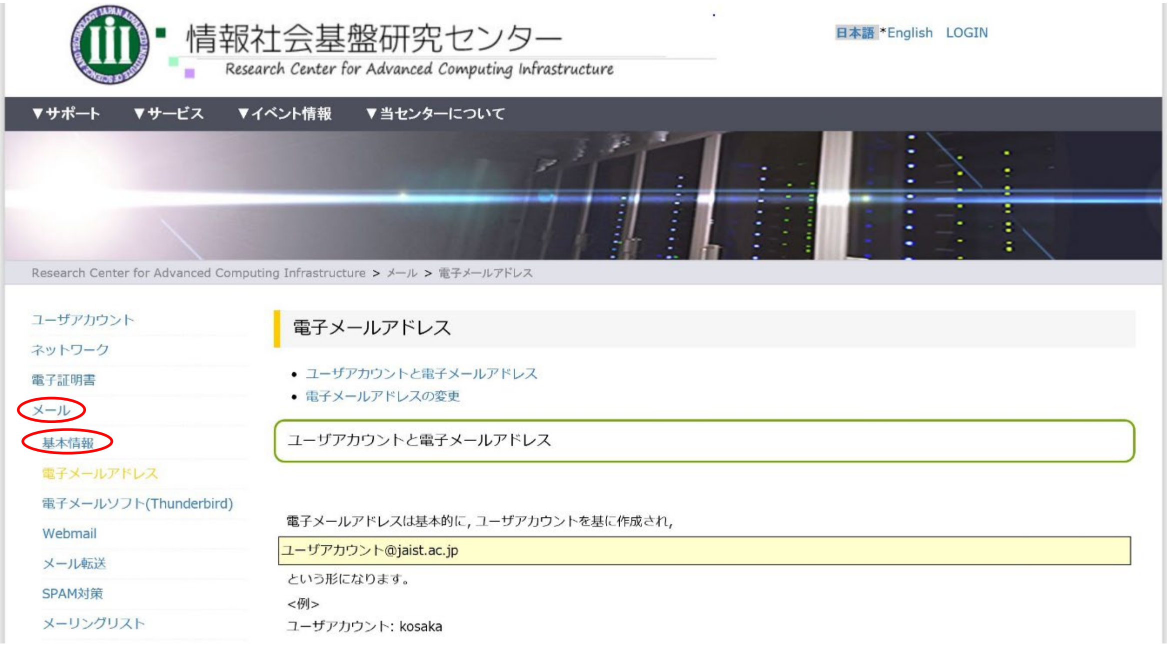
学内無線 LAN に接続する場合は電子証明書が必要になりますが，電子証明書の取得にはネットワーク接続が必要です。
そのため、最初の電子証明書取得は、「Surface 端末をドックに接続し有線 LAN を利用する」「他のオンラインの端末を利用して電子証明書を取得し、コピーする」などの方法で行ってください。
なお4月および10月の入学者受け入れ期間中は電子証明書が不要な無線 LAN を一時的に用意し、その無線 LAN を利用して電子証明書を取得可能となる予定です。

> *タイムゾーンと日時が正しいことを確認し，誤っている場合は修正してください。*
> *オンラインライセンス認証などで不具合が生じる場合があります。*

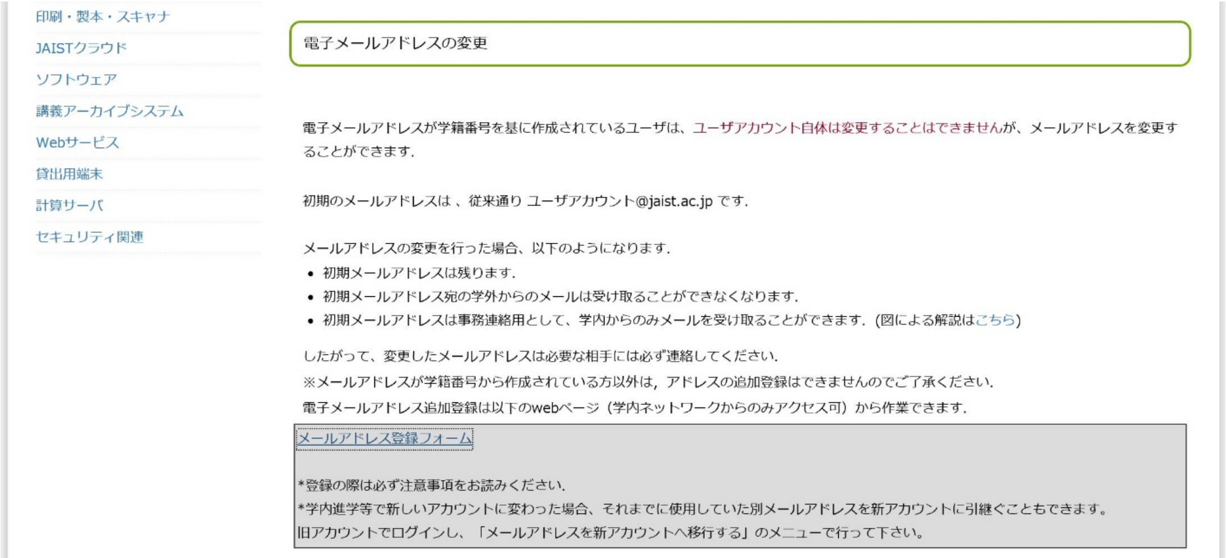
4.1 電子メールアドレスの変更

電子証明書にはメールアドレス情報が含まれるため、メールアドレスを変更すると無効となります。メールアドレスの変更を希望される場合は、電子証明書の取得前に変更を行ってください。

4.3.1.　「情報社会基盤研究センター」ページから、「メール」「基本情報」「電子メールアドレス」「電子メールアドレスの変更」と進みます。



4.3.2.　「電子メールアドレスの変更」の注意点を確認した上で、「メールアドレス登録フォーム」へ進んで下さい。「メールアドレス登録フォーム」には詳しいルールなどが説明されています。



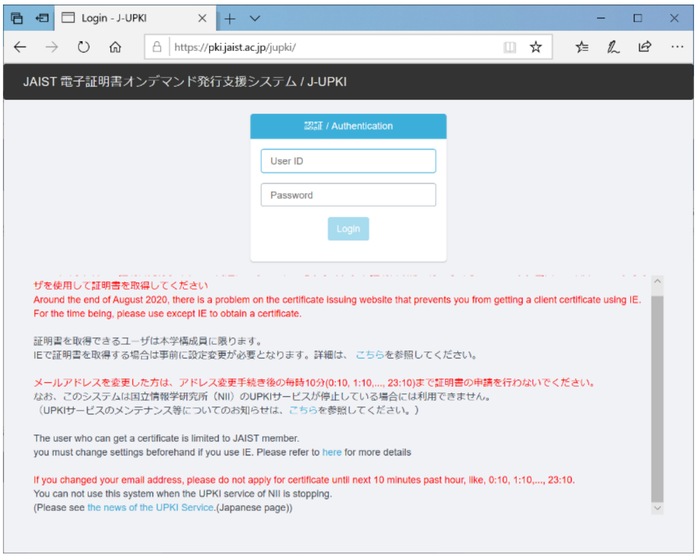
4.3.3.　内容をご理解のうえ、”JAIST アカウント”で認証を行い、メールアドレスの登録作業を行って下さい。

メールアドレスを変更しても、JAIST アカウントは変わりません *各種システムへのログインには、JAIST アカウント(学生の場合 s+学籍番号)を用います*

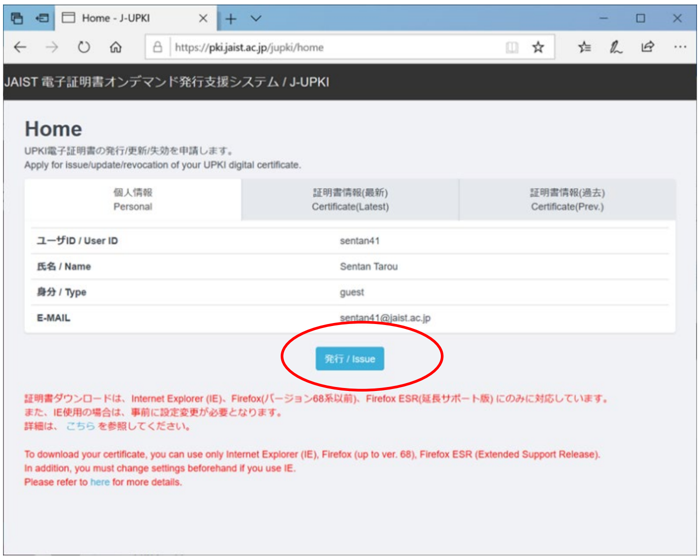
4.2 電子証明書の取得とインポート

Microsoft Edge ブラウザを利用した電子証明書の取得は次の通りです。
電子証明書の取得時には、ブラウザの設定変更が必要になる場合があります。詳細は「情報社会基盤研究センター」ページを参照してください。

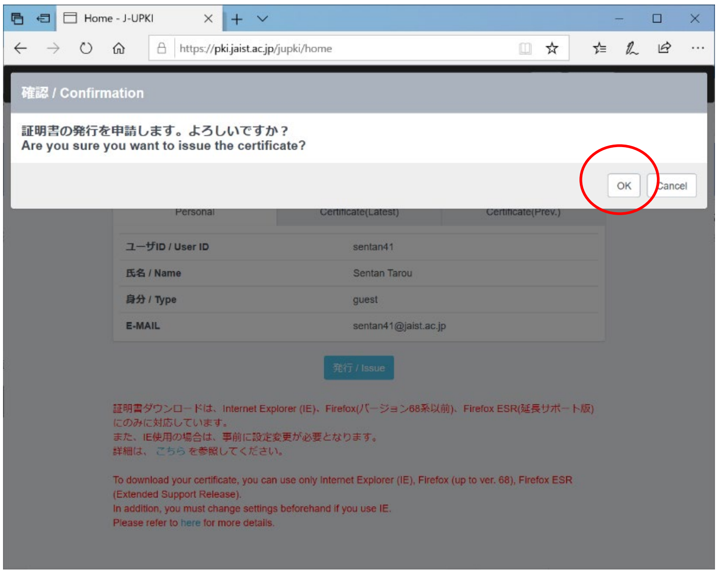
4.2.1.　Microsoft Edge を起動し、J－UPKI システム“https://pki.jaist.ac.jp”にアクセスし、ログインします。



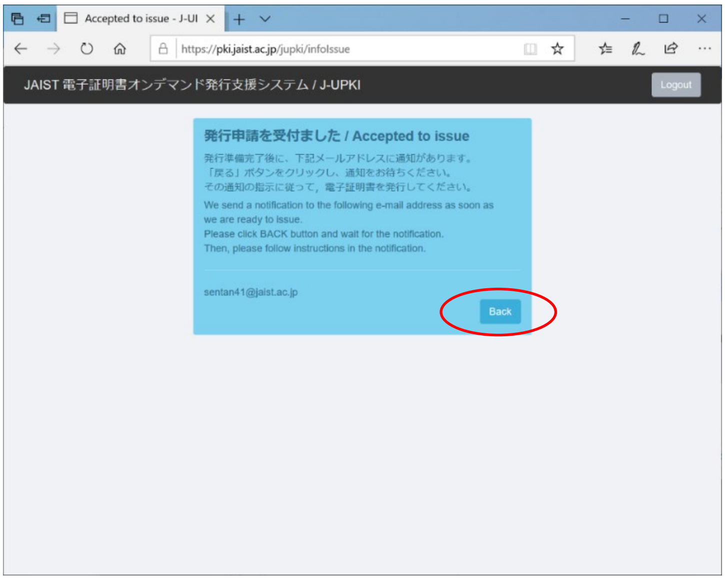
4.2.2.　［発行］をクリックしてください。



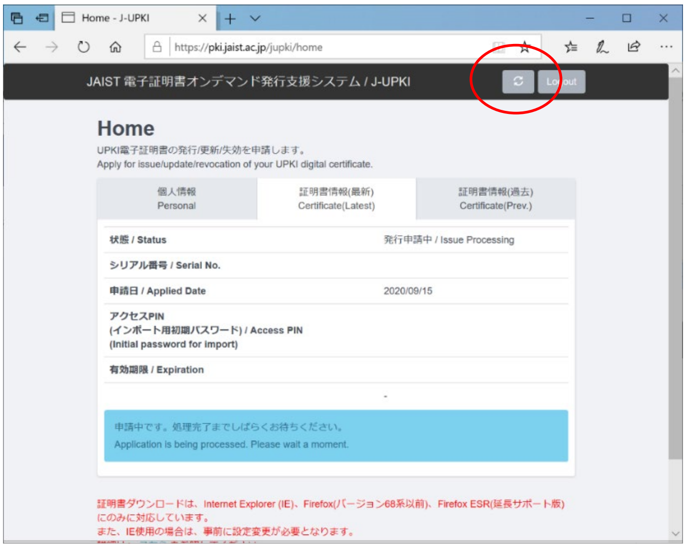
4.2.3.　証明書の発行準備が開始されます。“OK”をクリックしてください。



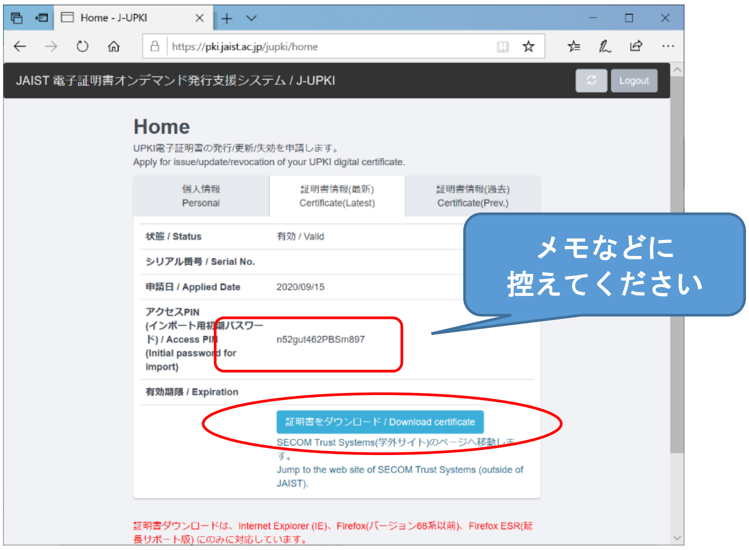
4.2.4.　申請受付画面に遷移します。[BACK]ボタンをクリックしてください。



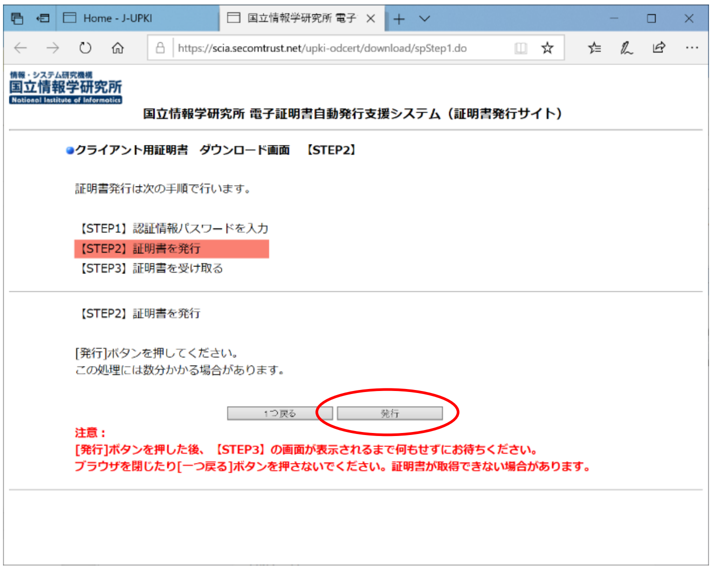
4.2.5.　申請中は以下画面のようになります。しばらく待ってからリロードボタンをクリックしてください。



4.2.6.　証明書ダウンロード画面が表示されたら、アクセス PIN を控え，[証明書をダウンロード］をクリックしてください（NII の証明書発行サイトに移動します）。

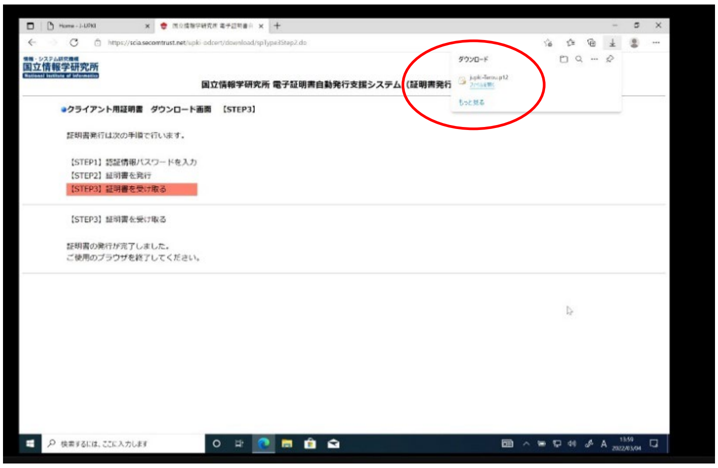


4.2.7.　NII の証明書ダウンロードサイトの【STEP2】から先に進み、電子証明書の[発行]を行ってください。



注意：［発行]を一度クリックした後は、【STEP3】の画面が表示されるまで、何もせずにお待ちください。

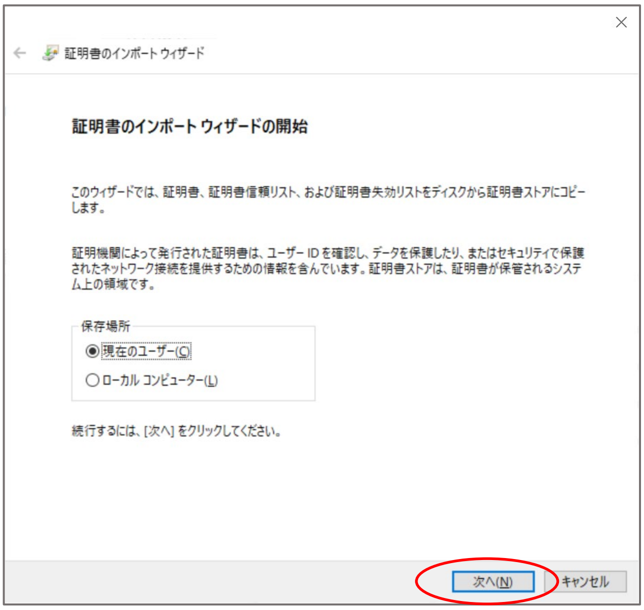
4.2.8.　証明書ファイルのダウンロードが始まります。ファイルを保存してください。



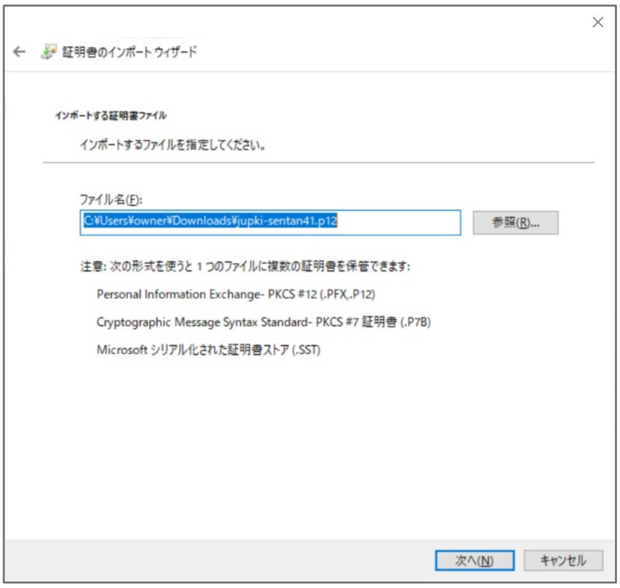
証明書の取得は以上で完了です。保存した証明書は有効期限が切れるまで大切に保管して下さい。次に証明書のインポートの手順を説明します。無線 LAN を利用する場合は、Windows OS へ証明書をインポートします。

4.2.9.　エクスプローラ等で保存した証明書ファイルをダブルクリックして開きます。

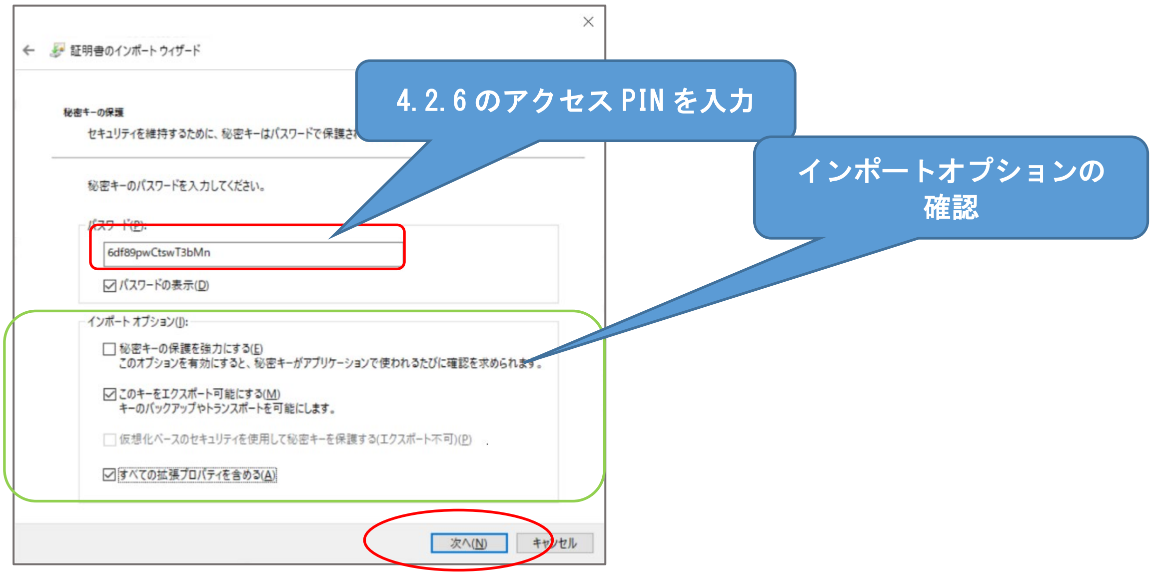
4.2.10. 証明書のインポートウイザードが起動します。[次へ]をクリックしてください。



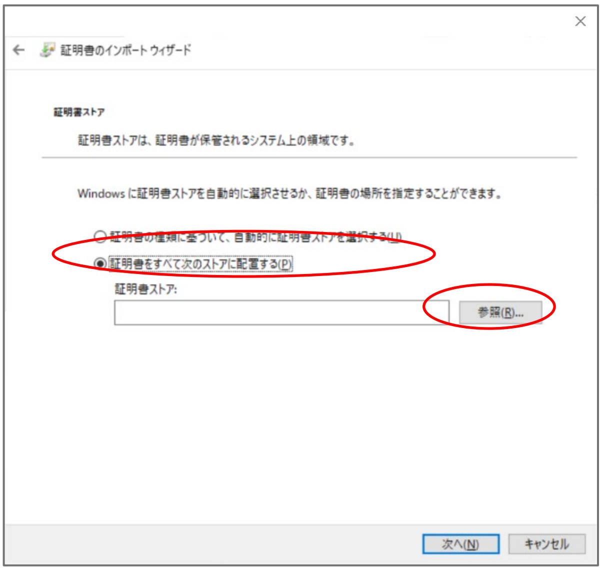
4.2.11. インポートするファイルを確認して、[次へ]をクリックしてください。



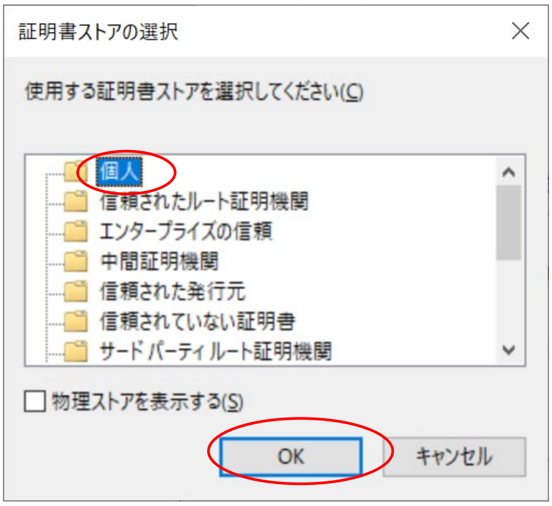
4.2.12. パスワード箇所に手順 4.2.5 で控えたアクセス PIN を入力し、インポートオプション箇所が下図のようにチェックされているか確認し[次へ]をクリックしてください。



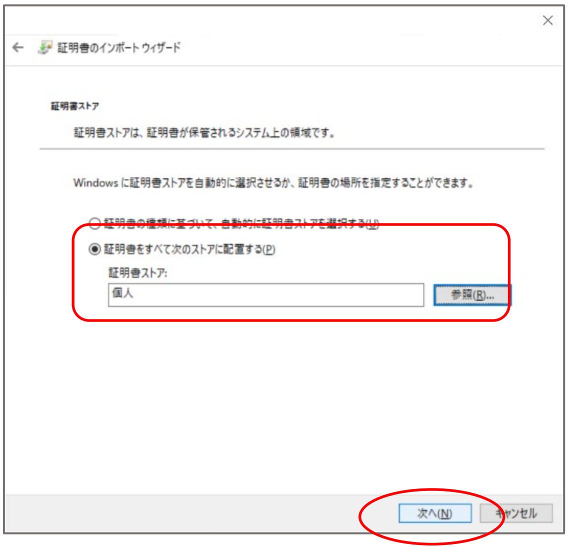
4.2.13. [証明書をすべて次のストアに配置する]にチェックを付け、[参照]をクリックしてください。



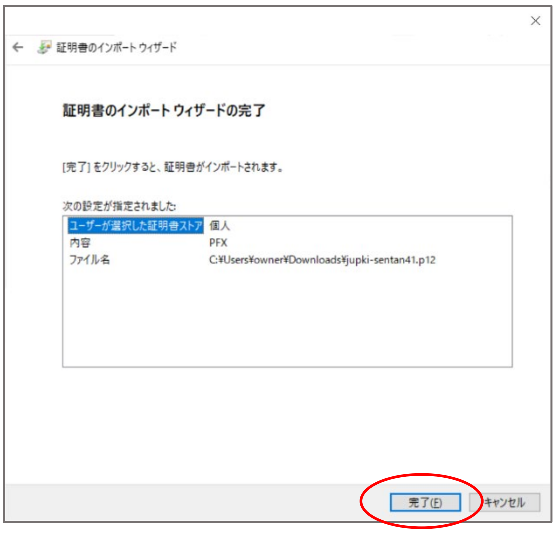
4.2.14. “証明書ストアの選択”で[個人]を選んで[OK]をクリックしてください。



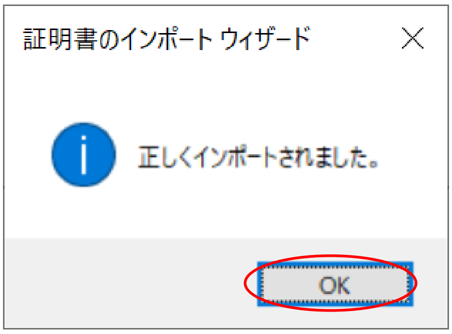
4.2.15. “証明書をすべて次のストアに配置する”にチェックが付き、[証明書ストア]が”個人”となっていることを確認したら、[次へ]をクリックしてください。



4.2.16. [完了]をクリックしてください。



4.2.17. 下図のポップアップが表示されるとインポート作業は完了です。[OK]をクリックしてください。



以上で Microsoft Edge を用いた電子証明書の取得とインポートが完了しました。

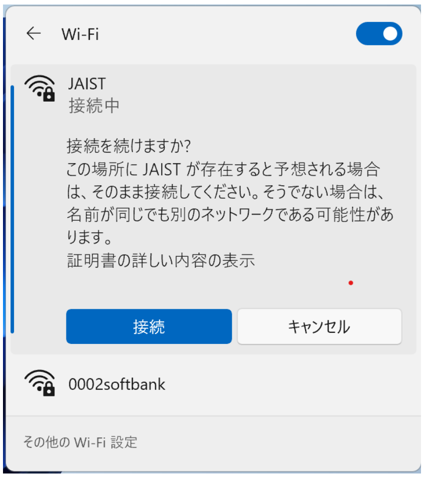
4.3 無線 LAN“JAIST”への接続

アクションセンターを開き，Wi-Fi センサーのマークをクリックします。通常，Wi-Fi センサーには接続しているネットワークのアクセスポイント名や「利用可能」といった文字が表示されています。

4.3.4. 無線ネットワークの一覧表示において “JAIST” を選択して下さい。
「自動的に接続」のチェックを確認後、接続を選択してください。

アクションセンターを開くには、タスクバーに表示されている「バッテリー、ネットワーク、ボリューム」のアイコンをクリックします。

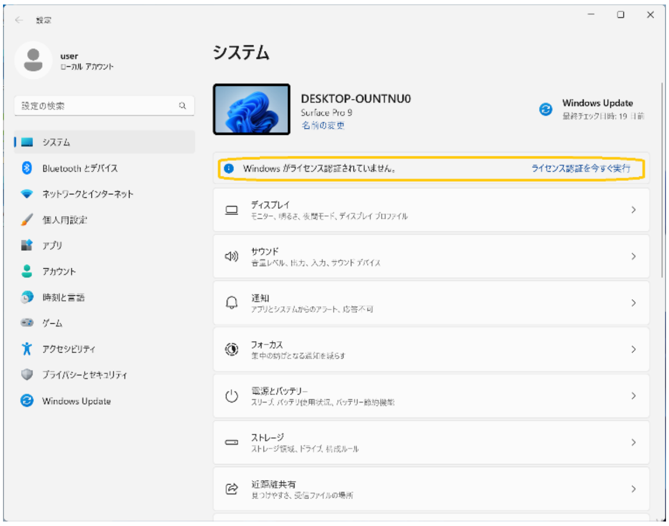
4.3.5. ユーザ名とパスワードを確認してきますが、その下にある「証明書を使って接続する」を選択してください。
複数の証明書が存在する場合は、4.2 で取得した証明書を選択してください。
その後、接続を続けるかの確認が行われますので、内容を確認して接続を行ってください。



5　Windows11 について

5.1　ライセンス認証

ご利用の Surface 端末で利用している OS は「Windows11 Education」という教育機関向けのエディションです。本学内に設置してあるライセンスサーバから一定期間ごとに認証を受ける必要があり、学内 LAN 接続時に自動的に行われます。
「Windows のライセンス認証を行ってください。」という表示がある場合は、学内 LAN に接続してください。ライセンス認証が行われ、表示が消えます。



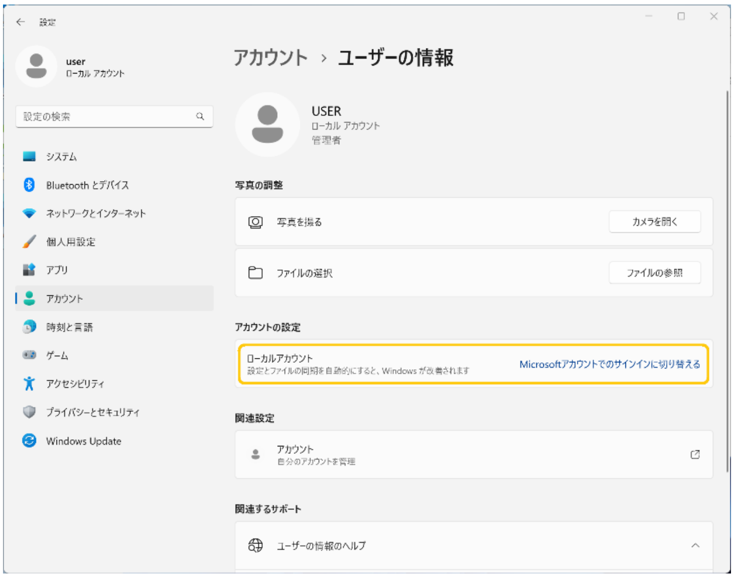
端末の日時が正しく設定されていないとライセンス認証が行えない場合がありますのでご注意下さい。

5.2　Microsoft アカウント

Microsoft アカウントとは、Microsoft の Web サービスを利用するための ID です。
Window8 以降の Windows では、Microsoft アカウントでサインインすることで、Microsoft の Web サービスを統合的に利用できるようになりました。Microsoft ストア経由でインストールする必要のあるアプリの利用や OneDrive を利用した Windows 環境のオンラインバックアップ機能などは、Microsoft アカウントでのサインイン時のみ利用可能となっています。これらの機能が必要な場合は次の手順で Microsoft アカウントとの連携を行ってください。

5.2.1.　「設定」→「アカウント」→「ユーザーの情報」→「アカウントの設定」より Microsoft アカウントとの設定が行えます。

5.2.2.　「アカウントの設定」画面で「Microsoft アカウントでのサインインに切り替える」を選択し、関連付けの設定を行ってください。



連携する Microsoft アカウントとしては、「既にある Microsoft アカウント」「既にあるメールアドレスを利用して新規に作成する Microsoft アカウント」「Outlook.com 等で新規に作成する Microsoft アカウント」等が利用できます。
JAIST のメールアドレスを利用する場合は、以下に注意して利用登録を行って下さい。

> *JAIST のメールアドレスは、初期状態ではアカウントと同じものが割り当てられています(初期アドレス)。初期アドレスとは別に他のユーザと重複などしない限りは自由な文字列を別名メールアドレスとして設定する事が出来ます。(“4. 1　電子メールアドレスの変更“　参照)*
> *ただし別名メールアドレスを設定すると、初期アドレスは学内連絡専用になり、学外からのメールを受け取れなくなります。その状態で Microsoft アカウント等の外部サービスに JAIST の初期アドレスを登録すると、通知メールなどが受信できなくなる可能性がありますので、ご注意ください*

5.3 マルチディスプレイ

机上に設置されているディスプレイは、ドッキングステーションや Surface ドックへ端末本体を接続することで、自動的に複製表示になり、本体とディスプレイの両方に出力されます。表示モードを変更したい場合、自動的にマルチディスプレイにならない場合は、以下の手順で変更してみて下さい。

5.3.1.　セカンドディスプレイが認識されていれば、「設定」→「システム」→「ディスプレイ」より設定の変更が行えます。
5.3.2.　またアクションセンターを開き、「クイック設定の編集」→「追加」→「表示」→「完了」と設定することで、ショートカットを作成できます。

> *アクションセンターを開くには、*
> *タスクバーに表示されている*
> *「バッテリー、ネットワーク、ボリューム」*
> *のアイコンをクリックします。*

表示メニューに出力方法が出てこない場合は、セカンドディスプレイが認識されていません。
ディスプレイケーブルや電源の接続状態等を確認してみてください。

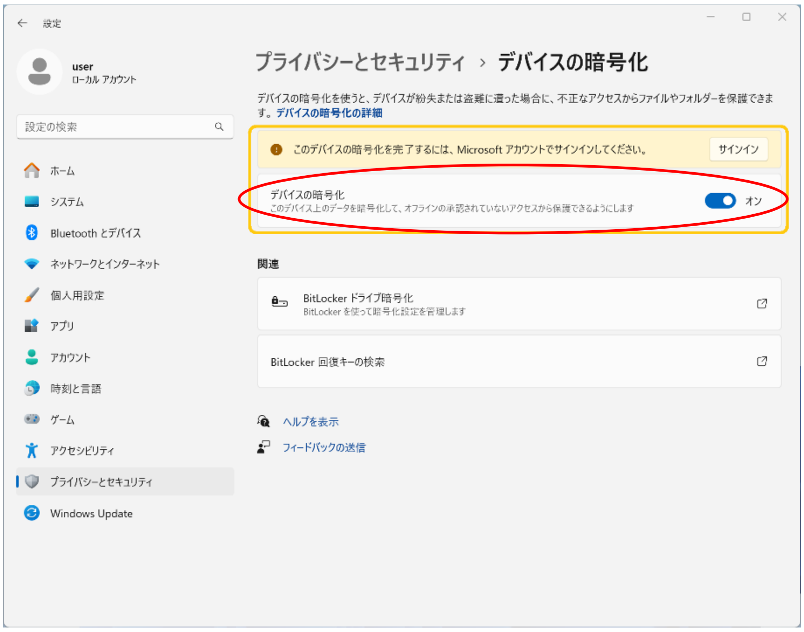
5.4 「初期状態に戻す」機能について

Windows8 以降の Windows には、初期状態に戻す機能があります。
この機能による初期化とは、工場出荷時の状態に戻すことです。
そのため、本学環境として構築してあるソフトウェアもインストールされていない状態になりますので、情報社会基盤研究センターとしては、この機能の使用は推奨しておりません。
なんらかの事情で初期化を行いたい場合は、必要なデータのバックアップを行った上で、情報社会基盤研究センター窓口へ端末をお預けください。通常、一時間ほどで本学環境への初期化作業を行うことが可能です。

5.5 デバイスの暗号化について

デバイスの暗号化は端末の紛失、盗難などに備えて、データを他人からは読み出せなくする機能です。デフォルト設定のままにしていた場合、誤動作により予期しないタイミングで暗号化機能が有効化され、自分自身でも Surface が利用できなくなってしまった事例が報告されています。機能を利用する場合は必要な設定を行い、暗号化を完了してください。
機能を利用しない場合は、設定が無効になっていることを確認してください。

5.5.1 「設定」→「プライバシーとセキュリティ」→「デバイスの暗号化」より設定を変更できます。



6　データバックアップ ＊JAIST アカウントが必要です ＊

6.1 データバックアップ

Surface が突然起動しなくなるなどのトラブルが年に数件報告されています。
Surface が起動しない場合，本体内に保存していたデータを取り出すことはできません。定期的なバックアップを取り，万が一のトラブルに備えてください。
ここではバックアップ保存先に OneDrive を使用する方法を説明します。

6.2 設定方法

6.2.1.　OneDrive を起動します。
6.2.2.　JAIST のメールアドレスを入力してください。"JAIST-SSO"認証画面が表示されます。JAIST アカウントでログインしてください。

メールアドレスを変更した場合も、JAIST アカウントは変わりません。
各種システムへのログインには、JAIST アカウント（学生の場合 s+学籍番号）を用います

6.2.3.　OneDrive フォルダのパスが表示されます．
デフォルトでは、このフォルダに置いたファイルはオンライン上にバックアップが置かれます．
そのほか，デスクトップやマイドキュメントのファイルを自動バックアップすることもできます．詳細な使用方法は Microsoft 社のサイトに Onedrive の使い方ガイドなど様々なドキュメントがありますので，参考にしてください．

7　利用できるサービス

7.1　概要

本学の学生の方に利用いただける各種サービスについて，情報センターWeb サイトにて紹介しています．
Surface 端末デスクトップの“About This Terminal”ショートカットをご覧ください．

8　困った時には

8.1　問い合わせ

情報社会基盤研究センターでは、次の方法で皆さんからの問い合わせを受け付けています。

- 問い合わせフォーム
  https://www.jaist.ac.jp/iscenter/support/form/
- 電子メール：it-helpdesk@ml.jaist.ac.jp
- 受付窓口：情報科学系研究棟 2 棟 2 階　I-24（平日 8:30-17:00）

端末利用同意書

情報社会基盤研究センター

1. **貸出端末はJAISTの管理物品です。紛失や破損のないよう適切に管理してください。**
   a. 貸与品の紛失や破損があった場合は、速やかに情報社会基盤研究センターまで連絡の上、報告書をご提出ください。
   b. 貸与品の紛失や破損があった場合、弁済・修理に要する費用を請求される場合があります。
   c. 貸与品を第三者に貸し出したりすることは、固く禁止されています。
   d. 座席の移動を行う際は、貸与品リストの対象物品のみを移動させてください。
   e. 貸与品に貼付されている管理番号シールを剥がす、シールやステッカー等を貼付する、イラストを描く等の行為は貸与品の汚損とみなされますので行わないでください。
   f. 貸与品を使用しない場合は、すぐに返却してください。

2. **利用の際は、セキュリティに十分配慮するとともに公序良俗や法令に反する行為は行わないでください。**
   a. 本学セキュリティポリシーおよびガイドラインに従った利用をお願いします。
   参考：https://www.jaist.ac.jp/member/personal/security.html
   b. Windows Updateやアンチウイルスソフトを実行し、最新のセキュリティ状態で利用してください。

3. **端末内データに関しては当センターでは保障できません。利用者の責任で取り扱いをお願いします。**
   a. 必要なデータは、端末外の領域にバックアップしておくことを推奨します。
   b. 学外のサービスを利用する際には、外部サービス利用による情報流出等が社会問題となっている危険性を認識した上で、個人の責任と判断のもと行ってください。

4. **端末管理ソフトウェアがインストールされています。**
   a. 端末管理ソフトウェアはハードウェア情報やセキュリティ状況などを管理していますが、物品管理及びセキュリティ管理以外の目的では利用いたしません。ただし最高情報セキュリティ責任者の許諾のもと、必要に応じて管理情報を提出する場合があります。
   b. 端末管理ソフトウェアまたはOS本体のアンインストール・変更を行いたい場合は、情報社会基盤研究センターまでご連絡ください。

5. **修了・休学・退学・協働教育プログラム等の理由でJAISTを離れる場合、速やかに返却をお願いします。**
   a. 貸与品は全て返却してください。
   b. 物品確認等のため情報社会基盤研究センターから請求のあった場合には、速やかに貸与品を持参してください。
   c. メールによる返却期限通知、返却依頼に応じられない場合は、大学の他部局が保有する連絡先情報を使用し、メール以外の手段で連絡する場合があります。
   d. 返却されない場合、法的手段を取る可能性があります。